

2023年度（53期）事業報告書

1 概況

2023年度（53期）は、世界経済における円安等に起因した物価の高騰や、コロナ明けの様々な業界において人手不足等による人件費の高騰などの厳しい情勢であった。新型コロナウイルス対策については5類に移行した政府方針には準じつつも、医療機関であることの認識をふまえ、昨今の感染症流行に合わせた柔軟な対応として、財団として従来通り役職員はもとより、受診者様・お客様へマスク着用の呼び掛けを行った。

事業収入の推進・サービス向上のために渉外活動を通じ、DM、架電を効果的に行いつつ、採算の合わない事業所については値上げ交渉や日程の調整も推進し、利益の確保に努めた。

また、国税庁から昨年10月に開始となったインボイス制度に対応すべく、法令に遵守した請求書・領収書等の準備を行うとともに職員への周知徹底を行い、運用体制を整えた。

「診療所杉並健診プラザ」に於いては、前年度より資材等の遅れから延期となっていた既存エレベーターを6月に更新し、当初の計画通り全てのリニューアル工事が完了した。併せて施設内の受診者アンケート調査を継続的に実施、様々な結果を元に接客サービスなどを見直しつつ高い満足度を確保、更に収益向上のため積極的なオプション検査の斡旋を行った結果、オプション検査実施率の向上を図ることができた。併せて施設設備に於いても1年点検を実施し、建築業者へ補修工事や装置の見直しを行い、施設の美化、サービス品質向上に努めた。

長野県支部の施設に於いても昨年4月にカフェテリアの新設やエントランスの美装など一部リニューアル工事を実施した。更に今年1月にはより日健協グループの一員として繋がりを明確化するため、施設名称を「ほたるの里健診センター」から「信州たつの健診プラザ」へ変更、看板の位置や色もグループカラーの青・赤・白に一新し、隣接道路よりすぐわかるよう視認性を高めた。

2 公益事業

1) 健康診断後の医師・保健師等による保健指導

健康診断後の事後措置として、有所見の方と健診結果の振り返りを行い、受診勧奨、生活改善のアドバイスを行った。また顧客に対し、事業所単位での健康行動に結びつくよう、健康診断結果のまとめを作成し提出した。さらに労働時間・職場環境などを見直す一助として頂くべく、法定項目における有所見状況、経年変化、問診からみる事業所全体の健康意識・課題をとりまとめた。

2) 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定保健指導

健康診断のフォローアップを充実させるため、健康意識の高まるタイミングを捉えることで動機づけがしやすく、行動変容につながりやすい「特定保健指導の健診当日実施」に注力した。結果施設健診では、健診から保健指導への流れを円滑に実施することができ、

当日の面談数としては前年比191%と大幅に増加。杉並区民健診では、特定保健指導の該当者全員に電話での勧奨を行い、全体の半数近くに再訪頂き、結果説明と同時に特定保健指導を実施した。「健診を受けて終了」となることがないように、受診者と一緒に振り返りを行い、必要時は受診を促し、生活改善へ踏み出せるよう理解しやすい面談を心がけた。来訪頂けない場合は、電話で疑問に答えるなど健康相談に応じた。協会けんぽの特定保健指導参加者には、3か月後の無料血液検査への参加を促し、約3割の受診者に再訪頂いた。プログラム終了時期に血液検査で成果を確かめることで、受診者の意欲を維持できるよう心がけた。

3) 健康診断結果の統計的処理と「事業年報」「広報誌」の発行・配付

年4回発行する広報誌「バランス」では健康保持・増進に関わる記事を掲載し、関心を持って読んで頂けるよう季節に合わせた話題を取り上げた。また「事業年報」においては各検査結果についての考察を行っている。発行した事業年報や広報誌は、地域・行政・健康保険組合等に配布し、併せて財団ホームページにも広く公開した。

3 健康診断事業

1) 杉並健診プラザ

2022年8月に杉並健診プラザとしてリニューアルオープンして以降、1年間を通じて稼働した初めての年度であった。特に住民健診においては、前年度までは電話又はFAXでの予約受付であったが、今年度より住民健診専用のWeb予約ページを準備する事で多くの予約獲得に成功した。最終的にWeb予約の申込件数は前年より約3.7倍の伸びとなった。また、施設リニューアル時に導入した3Dマンモグラフィ検査、3D眼底検査などのオプション検査をお客様へ積極的にご案内して、付加価値の提供とともに健診の単価アップにつなげた。リニューアル以降、施設運営の基本の取り組みとして、スタッフ全員で「接遇」を意識した健診業務に取り組んでいる。日々受診者アンケート調査を行い、お客様のご意見を踏まえて常に改善に努めた。その評価として、2023年度アンケート集計結果では「次回も当施設を利用したいか」の問いに対し、「利用したい」が96.6%の結果となり、顧客満足において一定の評価を得ることができた。

2) 信州たつの健診プラザ

新規顧客獲得に向け市町村の取引先を増加させ、年間の受診者増減率は106.7%となった。更に、法定健診を実施していた事業所に対し、協会けんぽ健診を推奨する営業活動に力を入れ、結果増収へとつながった。また、2023年7月に一般財団法人日本宝くじ協会の公益法人助成事業の助成金を受けて、胃胸部車を新たに1台配備した。配備した胃胸部車では、胃部レントゲン撮影室と胸部レントゲン撮影室を別室に分けており、胃部レントゲン撮影中でも胸部撮影をする事ができるため、受診者の撮影待ちの時間を短縮することができた。

以上